学校番号	２１５

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	新詳地理Ｂ　（帝国書院）　新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	基本白地図最新版　（二宮書店編集部）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理の学習では、地図などを使った空間把握が非常に大切です。また、地図を読む上での約束事や知識も必要ですし、グラフや写真から参考になることを抜き出して学ぶ力が求められます。一年間を通じてこれらを学び、活用できるような能力を養います。
白地図やプリントを使っての作業や、地図を自分で作る作業、取り出した情報を文章にしてまとめる作業を行い、それらが評価の大きな部分を占めます。

2　学習の到達目標

世界や日本の中での自らの立ち位置を把握し、多角的な視点から物事を考察する能力を養う。
世界の文化や社会の多様性を広くうけとめる寛容さを培う。
地図やグラフ、写真の読み取りができるようにする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の中の日本、あるいは日本の中の自らの居住地域といった自己と社会とのつながりを意識し、世界や日本の地理的問題に関心をもって学習し、探求に努めている。	世界や日本の地理上の諸課題を自らの問題ととらえ、解決策を模索的に思考し、主体的な判断を通じて、自らの意見として表現できている。	教科書の地図やグラフ・写真から適切に情報を取り出している。また、白地図の色塗りや記述などの作業を通じて、必要に応じて情報を再構築できている。	地理に関する情報を取り出したり、再構築したりするための基礎となる知識・概念を蓄え、着実に積み上げている。
評価方法	授業の観察・発問への受け答え ノートやワークシートの記述 探究活動の記録や活動	授業の観察・発問への受け答え ノートやワークシートの記述 定期考査	ノートの記述 白地図でのワーク 定期考査	授業での観察・発問への受け答え 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	第Ⅰ部第1章　地理情報と地図	1節　地図の発達 1 現代世界の地図 2 世界観の変化と地図 2節地図の種類とその利用 1 地球上の位置 2 時差の求め方 3 地球儀とさまざまな地図 3節地図情報の地理化	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	a:地理的現象に関して、関心をもち、意欲的に探求しようとしている。 b:地理観の変化や地図の種類の相違から、差異の生じた原因を考察している。統計地図より情報を適切に取り出している。 c:時差の計算や、白地図の作業を適切に行っている。 d:地理の基本的な知識を身につけている。	授業時の発問 プリント提出 白地図の作業 テスト
	第Ⅰ部第2章　地図の活用と地域	1節　地図の活用	○	○	○	○	a:地形図に関心をもち、意欲的に探求しようとしている。 b:時代の異なる地形図を比較し、変化を考察する。 c:地図記号から地形を読み取る。 d:地図記号の知識を身につけている。	授業時の発問 プリント提出 白地図の作業 テスト
	第Ⅱ部第1章自然環境	1節　世界の地形 1　地形の成因 2　地球規模の大地形 3　河川と海岸の小地形 4　そのほかの特徴的な地形 技能をみがく6～8	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○	 ○ ○ 	a:各地形の生成について、意欲的に探求しようとしている。 b:地形の生成の過程や仕組みを考察し、適切に表現する。 c:学習した地形の知識を使って、地形図を読み取る。 d:地形の生成の過程や仕組みを理解し、知識を身につける。	授業時の発問 プリント提出 白地図の作業 テスト
1学期末		2節　世界の気候 1　気候の成り立ち 2　世界の気候区分 3　気候と植生・土壌 4　変化する気候 3節　日本の自然の特徴と人々の生活 1　日本の地形 2　日本の気候 3　開発に伴う災害と防災	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	a:世界の地形と気候の関係に関心をもち、日常生活と関連付けて学習しようとしている。 b:地形によって生じる気候の差異を考察し、表現する。 c:世界地図を書いたり、グラフや表に情報をまとめたりして、気候の特徴を読み取る。 d:気候区分に関する理解を深め、知識を身につける。	授業時の発問 プリント提出 白地図の作業 テスト

		4節　環境問題 1　世界の環境問題 2　さまざまな環境問題 3　日本の環境問題	 ○ ○	 ○ 	 ○ 	 ○ ○	a:　世界と日本の環境問題に関心をもち、日常生活と関連付けて意欲的に学習している。 b:地域ごとに事情が異なる環境問題の原因を考察し、解決策などを考え、文章で表現する。 c:　世界と日本の環境問題のデータや写真などの諸資料から，情報を適切に選択し，状況変化の推移や地域差を読み取る。 d:環境問題に関する知識を身につける。	授業時の発問 プリント提出 白地図の作業 テスト
2学期中間	第Ⅱ部第2章　資源と産業	1節　世界の農林水産業 2節　食料問題	○ ○	○ ○	 ○	○ 	a:農業に関する関心を高め、食料問題を自らの問題として捉え、学習に取り組んでいる。 b:世界の農業の概観から、日本の農業の現状を考察し、世界的な食料問題の解決策を考える。 c:食料問題の背景に関する諸資料から適切に情報を選択し、課題を読み取る。 d:世界と日本の農業に関する知識を身につける。	授業時の発問 プリント提出 白地図の作業 テスト
	第Ⅱ部第2章　資源と産業	3節　世界のエネルギー・鉱産資源 4節　資源・エネルギー問題 5節　世界の工業 6節　第3次産業	○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ 	a:エネルギー問題と日本の工業の問題を自分の生活と関連付け、問題意識を高めている。 b:エネルギー問題と、世界の工業にしめる日本の工業について考え、文章にまとめる。 c:三角グラフを参照し、日本の産業の割合を読み取る。 d:各エネルギーの特徴や日本の工業の趨勢を理解し、それらに関する知識を身につける。	授業時の発問 プリント提出 白地図の作業 テスト
2学期期末	第Ⅱ部第2章　資源と産業	7節　世界を結ぶ交通・通信 8節　現代世界の貿易と経済圏	○ ○	○ 	 ○	○ ○	a:交通の発達と貿易によって成り立つ日本の生活に関心を高め、探求しようとしている。 b:交通や通信の発達における日本の利点を考察し、将来の自分の生活を予測し表現する。 c:世界の貿易構造と日本の占める位置を地図・グラスなどの諸資料から読み取る。 d:交通の発達や世界の貿易に	授業時の発問 プリント提出 白地図の作業 テスト

							関する理解を深め、知識を身につける。	
	第Ⅱ部第3章　人口、村落・都市	1節　世界の人口 2節　人口問題	○	 ○	○	○	a:世界の現況と日本の将来に関心を向けて学習している。 b:先進国と発展途上国での人口問題の違いについて考察し、問題点を抽出し、課題の解決をはかるための意見を表現する。 c:各国の人口ピラミッドを比較し、日本の人口の特徴と問題点を読み取る。 d:人口爆発の歴史的な経緯を理解し、知識を身につける。	授業時の発問 プリント提出 白地図の作業 テスト
		3節　村落と都市 4節　都市・居住問題	○	○ ○	○	 ○	a:都市での生活の比較対象として村落での生活に関心をもって学習に取り組んでいる。 b:現代の都市機能や都市の問題を考察し、今後の日本の都市のあり方について表現する。 c:地形図の新旧を比較し、都市化の情報を適切に取り出す。 d:現代都市の問題について知識を身につけ、理解を深める。	授業時の発問 プリント提出 白地図の作業 テスト
	第Ⅱ部第4章　生活文化、民族・宗教	1節　世界の衣食住 2節　民族と宗教 3節　現代世界の国家 4節　民族・領土問題	○ ○	○ ○	 ○	 ○ ○	a:世界の民族とその衣食住に関心をもち、その宗教について積極的に学ぼうとしている。 b:世界の画一化と日本の領土問題を考察し、問題点を抽出し、意見をまとめて表現する。 c:諸民族の衣食住に関して、写真などの資料から相違や同質性を読み取る。 d:世界の宗教と現代の国家の形態に関して理解を深め、知識を身につける。	授業時の発問 プリント提出 白地図の作業 テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:　資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。